

MRI検査時に注意すべき経皮吸収型貼付薬

伝導性のある金属を含む経皮吸収型貼付薬（以下 貼付薬）を使用したままMRI（磁気共鳴画像）検査を実施すると、貼付部位に火傷を引き起こすおそれがあります。これは、MRIの高周波電磁場により金属を含む貼付薬が過度の局所高周波加熱を引き起こすことが原因であり、MRI検査前は貼付薬の使用有無についても確認する必要があります。

添付文書にMRI検査実施前に必ず剥がさなければならないことが記載されている貼付薬は4種類のみで、いずれも支持体に伝導性の金属が含有されています。伝導性の金属を含まない貼付薬については、貼付したままMRI検査を実施しても火傷を引き起こすおそれはないとされていますが、安全性や画像への影響を検討していないため剥がして検査することを推奨している貼付薬もあります。また、一度剥がした貼付薬の再貼付についても製薬メーカーへ問い合わせると、フランドルテープは可能ですが、粘着力の低下による吸収低下が考えられるため不可とする回答がほとんどでした。下表に主な経皮吸収型貼付薬のMRI検査実施前の貼付および再貼付の可否についてまとめました。

分類	商品名	成分名	製薬メーカー	MRI検査時に火傷を引き起こすおそれ	MRI検査時の貼付に関する製薬メーカー見解	再貼付
パーキンソン病治療薬	ニュープロパッチ®	ロチゴチン	大塚	あり	[添付文書より] MRI検査を実施する前は本剤を除去すること（本剤貼付部位に火傷を引き起こす恐れがある）	×
禁煙補助薬	ニコチネルTTS®	ニコチン	GSK	あり		△ 粘着力あれば貼付可
持続性疼痛治療薬	ノルスパンテープ®	ブプレノルフィン	久光製薬	あり		×
狭心症治療薬	ニトロダームTTS®	ニトログリセリン	田辺三菱	あり		×
	ミリステープ®		日本化薬	なし	貼付したまま検査可能と考えられる	△ 粘着力あれば貼付可
	フランドルテープ®	硝酸イソソルビド	トーアエイヨー	なし	貼付したまま検査可能	○
	硝酸イソソルビドテープ®		EMEC	なし	貼付したまま検査可能	△ 粘着力あれば貼付可
抗認知症薬	リバスタッチ®	リバスタグミン	小野薬品	なし	貼付したまま検査可能	×
	イクセロンパッチ®		ノバルティス	なし	貼付したまま検査可能	×
β ₂ 遮断薬	ピソノテープ®	ピソプロロール	トーアエイヨー	なし	貼付したまま検査可能	△ 粘着力あれば貼付可
気管支拡張薬	ホクナリンテープ®	ツロブテロール	マイラン	なし	剥離については施設判断	×
	ツロブテロールテープ®		EMEC	なし	貼付したまま検査可能	△ 粘着力あれば貼付可
持続性疼痛治療薬	フェントステープ®	フェンタニル	久光製薬	なし	剥がすことを推奨	×
	デュロテップMTパッチ®		ヤンセンファーマ	なし	貼付したまま検査可能	×
	ワンデュロパッチ®			なし	貼付したまま検査可能	×
エストラジオール製剤	エストラーナテープ®	エストラジオール	久光製薬	なし	剥がすことを推奨	×

【参考資料】 各製薬メーカー学術

（鹿児島市医師会病院薬剤部 桐野 玲子）